

# 教職員自主的研究推進事業 実績報告書

研究グループ名【 研究グループ「師庵」 】

代表者 の所属・ 職・氏名	養父市立 高柳小学校	連絡先	住所	養父市八鹿町高柳 1113-1
			TEL	079-662-2058
	FAX		079-663-1070	
	e-mailアドレス		takayanag-es@fureai-net.tv	
	教諭・柴垣 竜太			

## 活動実績

### 研究テーマ

「授業で勝負する」指導方法の工夫改善  
～アクティブ・ラーニングに関する実践的研究～

### 研究の概要

#### 6月3日（金） 理想的なアクティブ・ラーニングのあり方（理論と実践）

・実施場所及び人数：代表者自宅、6名

【成果と課題】参加者の中には、国語・算数を中心に、「ひとり学習」で、見つけた課題を独自に解決し、授業で友達と練り合う中で解決していく形態「読み語り」「解き語り」を実践してきた者がおり、その手法について情報交換ができた。実践例を具体的に聞くことで、それぞれが自分の学級をイメージして考えることができた。

#### 7月6日（水）習得・活用・探求の学習

・実施場所及び人数：代表者自宅、6名

【成果と課題】国語科の物語教材において、6年間を通じて系統立てて目標を立てて、段階的に読解力を付けていくことの大切さが議論された。物語を読むための視点（人物関係図・対比・主題、等）を「読みの技」と名付け、低学年時から習得してきた「読みの技」が中学年では、どんどん活用できるようになり、それらが、高学年では探求へとつながることを学んだ。

#### 8月19日（金）講師招聘「学級づくりの深層」講師：西 勝巳氏（関西大学初等部教諭）

・実施場所及び人数：八鹿公民館、13名

【成果と課題】子ども達のタイプ（聴覚、視覚、身体）を知ることで、学級づくりにつなげていく。配慮に欠けた行為（悪いことだけ叱る、脅迫、どうしようもない事実を突きつける、プライドを傷つける、告げ口調、過去をほじくらない）に気を付けること。

#### 8月26日（金）先輩から学ぶ「アクティブな学級づくり（取組と課題）」

・実施場所及び人数：八鹿公民館、16名

【成果と課題】現職の先輩教諭から、「学級経営で大事にしていること」について7項目に分けて教授いただいた。実際に素晴らしい実績を残し、今なお一線で指導されている方の指導方法は、大変参考になった。授業で子ども同士の関係が広がるように仕組む技は、まさしくアクティブ・ラーニングそのもので、常に意識したい。

#### 10月14日（金）教材研究と指導案 授業実践に向けて

・実施場所及び人数：代表者自宅、6名

【成果と課題】それぞれが、校内研究や教科担当者会で行う研究授業の指導案を持ち寄り、アクティブ・ラーニングの視点から検討を行った。遠慮なく意見を出し合う中で、自校だけでは出なかった実践方法を学ぶことができた。他校の研究、他者の実践を参考にすることができて、指導の幅が広がった。

### 1 2月9日（金）対話的な学び

- ・実施場所及び人数：代表者自宅、6名

【成果と課題】2学期にそれぞれが実践した授業の事後研修を行った。理科における対話的な学びについては、班ごとに順番に考察を言わせるのではなく、代表者が発表したことについて、それぞれ班で対話したことを追加・訂正として意見を出し合う方法の有効性が意見として出た。どの教科についても、ペア対話やグループ対話でしっかりと自分の意見を出す時間の確保が大事であると再認識した。

### 1 2月26日（月）主体的な学び

- ・実施場所及び人数：代表者自宅、6名

【成果と課題】2月に実施する「師庵」としての研究授業の打ち合わせを行った。研修の集大成となるよう、国語科の物語文で行うことに決まった。「学級経営は授業で勝負」と、長年取り組んでこられたベテラン教諭を授業者を選んだ。市内の若年教員にも多く参加を呼びかけたい。

### 2月 3日（金）研究授業事前研修

- ・実施場所及び人数：養父小学校会議室、6名

【成果と課題】9日（木）に実施する研究授業の事前研を行った。1年生国語科「たぬきの糸車」を教材にして、物語文の類比・対比読みから登場人物の心の変化を読み取る授業展開について、意見を練り合うことができた。この教材で、どう児童に読解力を付けるのか、単なる恩返しのお話で終わらせないために、教科書に書かれている言葉を根拠にして叙述に即してしっかり読み取るようにさせるなど、様々な意見を出し合った。

### 2月 9日（木）研究授業 国語科1年「たぬきの糸車」

- ・実施場所及び人数：養父小学校1年教室、21名

【成果と課題】よく見る「たぬきの恩返し」的な終末ではなく、「主人公（おかみさん）の見方によって気持ちが変わっている」という方向にもっていく提案授業であった。1人の児童の考えを文章中の言葉を根拠に全体に広げていき、全員納得して終えた。「分かったぞ」「次もやりたい」という児童の声が、たくさん聞こえてきた。

### 2月11日（土）研究授業事後研及び研究のまとめ（※予定していた講師招聘研修は、28日に延期）

- ・実施場所及び人数：代表柴垣竜太宅、6名

【成果と課題】1年間、複数校の異年齢集団で試行錯誤しながら学ぶことは、大変有意義であった。しかし、実施場所や時間の制約がある困難さもあった。身に付けた授業力を今後生かし、さらに伸ばしていく。

### 2月28日（火）講師招聘「言葉が子どもを育てる」講師 多賀 一郎氏（追手門学院小学校教諭）

- ・実施場所及び人数：県立但馬長寿の郷第2研修室、17名

【成果と課題】国語科の授業をベースに、教材の中の言葉や子どもへの言葉かけで大切なことをご教授頂いた。1~6年生までの国語科教材を例に教材解釈のポイントも教えて頂き、大変参考になり、学年最後の物語教を今後進めるにあたって、とても楽しみな気持ちになった。